

【講演抄録】

①：フルジルコニアの色調調整とグレージング（岩切信也氏）

歯科用 CAD/CAM 製品の普及およびジルコニア材料の品質の向上に伴い、モノリシックジルコニアの症例が定着してきました。それによって歯科技工作業が簡素化され補綴装置製作の時間短縮にも繋がっています。

同時に、陶材築盛作業を行わず、ステイン材を使用した色調調整が主流にもなってきました。

今回はモノリシックジルコニアクラウンに対しての色調再現方法の解説をさせていただきます。

②：リン酸塩系埋没材の取扱い（中野靖史氏）

歯冠用リン酸塩系埋没材は、急速加熱で焼却し casting することが主流とされます。

クラスプ、バーなどを「3D プリンター樹脂」で造形した場合も、急速加熱することが望まれているとされます。作業環境温度や保管状態などの影響で、埋没操作や焼却時に問題が発生することがあります。

より casting 欠陥が少なく、求める適合の casting 体を得るには、「埋没材（焼却含む）と casting」が重要です。

今回は「埋没材」を中心に解説させていただきます。

明日からでも実践いただけ、再現性のある casting 体を得るためのきっかけになれば幸いです。